

メッセージ

原水爆禁止2019年世界大会にご参加ならびにご支援の皆様、また、平和を願って展開されます活動に対し、心から敬意を表する次第でございます。

さて、広島、長崎への原爆投下から74年を迎え、戦争の悲惨さや核兵器の恐怖を体感なされた人々の高齢化が進み、戦争を知らない世代が多数を占めるようになってまいりました。

今、私たちに課された使命は、いつの時代にも被爆の惨禍を繰り返さないため、過去に経験した痛ましい教訓を語り継ぐことでもあります。

この認識を胸に、本市では、あらゆる国の戦争と核兵器の廃絶を求め、そして、平和な社会の築きを希求し、1984年に非核平和都市を宣言、2010年には平和市長会議に加盟をいたしました。

この意向と事績を形にすべく、本市独自に従前から平和事業を継続的に実施しており、今年7月27日、28日に市民総合センターにおいて、「語り継ごう平和の大切さ」をテーマとする平和・人権展を開催いたします。

今後とも核兵器の廃絶と恒久平和に向けた活動を立ち止まらずに実践してまいりますので、皆様におかれましては、これまでに増すご支援、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

結びに、原水爆禁止2019年世界大会に参加されました、皆様の熱意に重ねて敬意を表しますとともに大会の成功を記念いたしまして、私のメッセージとさせていただきます。

2019年7月12日

四條畷市長 東 修平